

みんなが参加したくなる楽しい場をつくる！！

各務原市では2018年度に全域で第2層協議体の設置が完了しました。多様な方が自ら参加している場を追求し、「知らなかった地域情報を知ることができる」、「様々な人と出会うことができる」協議体を目指しています。

みんなが参加したくなる楽しい場をつくる！！

各務原市の第2層協議体設置の取組

「生活支援等サービスの体制整備には多様な主体の参画が効果的な取組につながる。」
各務原市ではそこを軸に第2層協議体の設置に取り組みました。

取組の始めとして、各地域で支え合い活動の実例や協議体の意義を伝える講座を開催。各地域の支え合い活動実践者のお話や、さわやかインストラクターによるたすけあいゲームを通じ、支え合い活動に興味関心を持っていただくことに努めました。

続いて、協議体の参画者集め。講座参加者や地域で活躍する方々に広く声かけを行い、自ら参加を希望された方々とともに協議体を立ち上げました。

2018年度には各務原市の全域で第2層協議体の設置が完了。第2層協議体の数は11、通算回数は53回(2019年3月末時点)。
2019年度は第1層協議体を開催し、各第2層協議体の情報を交換・共有できる場づくりを進めていきます。

今後も多様な方々が自ら参加している場を追求し、「今まで知らなかった地域情報を知ることができる」、「様々な人と出会うことができる」から楽しい！そんな協議体を作っていきます。



【生活支援コーディネーター】末永達也・田中新樹

■共に各務原市社会福祉協議会地域福祉課 職員

わがまち茶話会の回数を重ねる中で、参加者から、「実は私も思っていた・気になっていた」等の声を聞きました。地域への思いを個々の胸の内に留めている方がいらっしやると感じています。

「わがまち茶話会」を運営していく中では、参加者の潜在意識に「人が集まる場＝会議」のイメージが根強く残っていて、戸惑うこともありました。

今後は、地域の方々の「わがまち茶話会」に対する理解を一層深めて、多様な参加者が増えることで地域の支え合い活動にプラスに働くといった好循環を目指していきます。

各務原市の第2層協議体の特長

- 誰でもいつでも参加OK 参加しないといけない人は誰もいない
- 協議体の名称はみんなで決める わがまち茶話会 etc
- 次の開催日はみんなで決める 開催ペースは様々
- 終了時間はみんなで決める 盛り上がるから目安の時間を超えることも

2018年度第2層協議体の様子



「生活支援活動の話をごきょうで始めて聞きました。自分の地域でも必要なものだと思います。地域の集会で今日の話を話してみます。」



「所属している団体が買い物支援の取組を考えていて、アンケート調査を行っています。」
↓
「私は高齢者の通いの場を毎月開催しています。そこでアンケート調査に協力できますよ。」

各務原市役所 健康福祉部 高齢福祉課

A 体制整備状況

③協議体の取り組みその他



いきがい
助け合い